うちとくCS通信

Vo.5　2025.10.6
内原特別支援学校
地域連携･交流教育係

第2回　学校運営協議会

8月29日（金）に、学校運営協議会を開催しました。今回は、委員の皆さま9名に加え、教職員19名、保護者5名、地域の方7名にもご参加いただき、これからの学校・地域について、グループ対話による意見交換を行いました。

＜テーマ＞　うちとくハピネスプロジェクト
「こんなことといいな、できたらいいな♪
夢をカタチに！未来を育むアイディアソン」

アイディアソンとは、「アイディア」と「マラソン」を組み合わせた造語で、テーマに対して、短時間で意見を出し合うことです。
5～6人のグループを作り、付箋紙法を使って学校や地域での「できたらいいな」というアイディアとその思いについて対話を行いました。

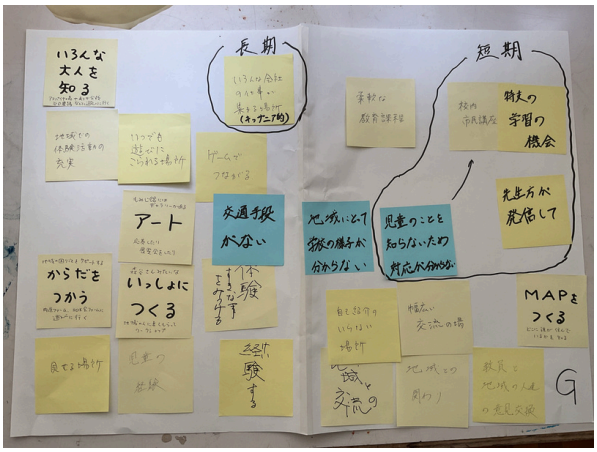
＜たくさんのアイディア＞

★地域の方に気軽に学校に来てもらう
（授業に参加・市民講座・バザー・給食など）
★児童生徒が地域へ出て活動する
（市民センターの活用・行事への参加・仕事体験など）
★地域と協働で開催
（夏祭り・農業体験・防災に関する体験・スポーツ交流など）

「お互いをもっと知りたい」「地域の場の活用、地域の人の活躍」「卒業後も気軽にいける場所がほしい」などの意見がありました。

＜参加者の感想より＞

◎多様な立場の人とのディスカッションの中で、それぞれの考え方や意見を聞くことができ、多くの気付きがありました。
◎様々な人と話をしたことが有意義でした。今後も続けてほしい。
◎地域の中でたくさんの宝を発見できました。子ども達にも知ってほしい。
◎交流をもちたいという思いは共通していたと思います。負担にならない方法を見つけていければと思います。



今回の対話を通して、学校と地域が一緒になって子どもたちを育てていくことの大切さを改めて確認できました。